

2020年10月

第121号

ぱれっと



(株)北日本ベストサポート
Tel. 018-883-1888

「菅義偉総理大臣誕生」

令和2年9月16日菅義偉自民党総裁が第99代の総理大臣に選出された。秋田県雄勝郡秋の宮村出身(現湯沢市秋ノ宮)、秋田県出身者で最初の首相就任である。心から祝福申し上げたい。

既に、各メディアによって菅総理の素顔が紹介されているが、初の秋田県出身首相でもあり少し遡って詳しく経歴を振り返ってみたい。

1948年12月6日秋ノ宮村のイチゴ農家の長男として生まれた。父は「秋ノ宮いちご」のブランド化に成功し、出荷組合長や雄勝町議会議員などを歴任し旭日単光章を授与されている。

本人は秋ノ宮小学校、中学校を卒業後、秋田県立湯沢高校に進学、あまり目立たない存在。自宅からはバス・汽車を乗り継ぎ約2時間の通学をした。進学組に籍を置いていたが卒業後、東京板橋区の段ボール工場に就職したものの2ヶ月で退職。大学進学を目指しアルバイトをしながら法政大学法学部政治学科に進学した。大学時代は空手部に所属し3段位を取得。

1975年政治家を志して衆議院議員小此木彦三郎の秘書となる。1987年横浜市議会議員選挙に立候補当選、市議を2期務めた。1996年第41回衆議院議員総選挙に神奈川2区から自民党公認で出馬し初当選した。

1998年には師と仰ぐ梶山静六代議士を支持し総裁選挙に臨み、また2000年には「加藤の乱」で加藤紘一議員に同調し森内閣の不信任案の採決を欠席した。

2006年再チャレンジ支援議員連盟を立ちあげ安倍晋三氏を擁立する原動力となり、第1次安倍内閣の総務大臣に就任。(初入閣)

2012年甘利明氏に呼びかけ麻生太郎氏を含めて第二次安倍内閣誕生に漕ぎ着け内閣官房長官に任命され、その後7年8カ月に亘り安倍総理を支え最長の官房長官の任に当たった。

2020年8月29日安倍総理大臣は体調不良を理由として辞任を表明。菅氏は9月2日に自民党総裁選挙に出馬を表明。9月14日に圧倒的支持票のもと総裁となり、9月16日総理大臣に選出された。

菅総理は「自助」「共助」「公助」をスローガンに掲げ、縦割行政に横串を通し行政改革・規制緩和を強力に推し進めたいとしている。具体的には不妊症治療の保険適用、IT庁の設置など国民目線に立った改革を推し進める姿勢を示している。とにかく安倍路線を継承しつつも国民のために働きたいと強い意欲を見せ「働く内閣」を推し進めようとの姿勢が鮮明としている。

内閣支持率も報道各社の世論調査では65%以上の高支持率となっており、解散総選挙で国民に信を問ひ、長期政権を目指すべきとの声もある。頑張っていて欲しい。



元慶應義塾大学 名誉教授 村田 昭治

知識の前に感じる力が大事

競争に勝ち抜くカギは強い危機感を持つことだ。それからスピードを重視することだ。いい会社は、どの会社も、世界中そうであるが危機感を持っている。

現状に安住しないことだ。現状に留まっていたら企業は終わりだ。

すさまじい勉強をして、深い考えをもち、観察力の鋭い人は、感じる力をもっている。

知識と知恵も大切だが、その前に感じる事が大事である。感じるために必要なのは、まぎれもなく幅広い、深い学びだろう。その学びのなかに、哲学書を開いて見ることをぜひ加えたい。

「リーダーとはプラトンが論じたような高邁な理念に憧れを抱く人であり、その理念に人を導いて行くために理想を示し、社内みんなとの対話や討論によってビジョンを確定し、仕事の姿を具体的に導き出すことがリーダーの条件だ」

哲学者の今道友信先生はこうしたことを論じたり、考えるときには己の反省が必要であり、そのためには哲学の古典と向かいあうのがよく、それも特に難しいものでなくプラトンの「ソクラテスの弁明」や孔子の「論語」などを読むことをすすめておられる。それが理念的なものに対する考察力、人間力を養っていくのだ、とおっしゃっている。

今道先生は日本アスペン研究所特別顧問をなさっており、80歳を超えたお年でなお猛烈な勉強を継続しておられたのだ。そのお姿は後進への絶大な励みでした。

仕事でも勉強でも同じで、言葉だけではだめだ、信念と情熱を行動に懸けて、果実の実るまで汗を流して取り組んでいかねばならないと、わたしも気持ちを奮い立たせた。

これからのリーダーは、壁を打ち破っていく熱気をもった知恵の格闘技をしていかなければなるまい。そのために捨身で、命懸けで仕事に取り組み燃焼して欲しい。長いモノサシのなかで、輝く未来のためにいま何をやるかを、経営者は宣言しているだろうか。

営業本部長、生産本部長は何をやるのか、管理本部長は何をやるのか、技術研究所は何をやるのか、もっと密接にネットワークを組んで、議論を重ねてほしい。

会社を民間官僚化してはいけない。強い危機感をもって、スピーディーに企業改革に踏み出してもらいたい。

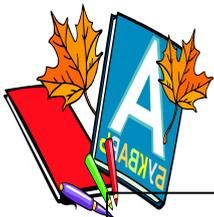
『「人を惹き付ける経営」より』



ジェームズ・クック (イギリスの海軍士官・海洋探検家)

1728年10月27日	スコットランド人の父とマートン生まれの母の下に生まれた。
1746年	石炭運搬船団の見習い船員となる。ここで操船に必要な代数学、三角測量法、航海術、天文学に励んだ。
1749年	3年間の徒弟奉公を終え、バルト海貿易船のブリック「フレンドシップ号」で働く。直後、英国海軍に水兵として志願入隊。
1757年	航海長(士官待遇)の任用試験に合格。
1759年	七年戦争でケベック包囲戦に加わった。
1766年	38歳で英国軍艦エンデバー号の指揮官となった。
1768年～1771年	第1回航海タヒチへ。南米南端を經由しタヒチへ。天体観測目的。さらに、タヒチ人の協力を得てニュージーランドへ到達。ヨーロッパ人として史上2番目。ニュージーランドの北島と南島の間クック海峡発見。その後、オーストラリア大陸に初めて上陸。
1772年～1775年	第2回航海 アフリカ南端からヨーロッパ人初の南極圏に突入。南米南端を回り南ジョージア島と南サンドウィッチ諸島を発見。帰国後勅任艦長(ポスト・キャプテン)に昇進。通称キャプテン・クックと呼ばれる。
1776年～1780年	第3回航海。1778年ハワイ諸島を訪れた最初のヨーロッパ人となった。1779年2月14日ケアラケクア湾に停泊中先住民と衝突事件発生。殺害された。享年50歳

オススメの *BOOK*



「疫 病」 2020

作者 門田 隆将 出版社 産経新聞出版

ジャーナリストの作者については、先に「死の淵を見た男」福島原発事故で紹介している。今回は「コロナ発生から現在まで」を、中国は何を隠蔽したか、誰も踏み込んでいなかった事実に切り込んでいる。また、日本での対応についても余りにも国民を顧みない厚労省について危機管理の脆弱さに鋭いメスを入れている。自分のツイッターを添えながら臨場感あふれた力作となっている。



火災保険、値上げ前のチェックポイント

今年7月、大手の損害保険会社が来年1月から全国平均で6～8%火災保険料を値上げすることを発表しました。

自然災害で保険金の支払いが増加していることを受けての措置ですが、昨年10月にも値上げをしているので、わずか1年足らずで、再度の値上げとなります。

火災保険は火災だけではなく、多くの場合、落雷や風水害などの自然災害による被害も補償される保険で、近年のゲリラ豪雨や台風の甚大な被害を考えると、必要性が高いものだと考えます。

保険料の値上げ前にチェックするポイントを見てみましょう。

☆ポイント1

短期契約か長期契約か？

火災保険の保険期間は、1年から最長10年までの契約ができます。通常、長期契約には割引があり、短期契約よりも保険料は割安になります。火災保険を1年などの短期で契約している場合は、長期契約に切替えることを検討してみても如何でしょうか。

☆ポイント2

支払い方法は？

保険料の支払い方法には、月払いや年払い、一括払いがあります。まとまった資金が必要になりますが、保険料を一括で支払うことによって、長期契約でもさらに保険料負担が軽減される可能性が高くなります。但し、保険期間によっては一括払いのみという制限があったりしますのでご注意ください。

☆ポイント3

水害に対応しているか？

水害の被害に遭った場合に保険金が支払われる契約になっているかどうかをしっかりと確認しておきましょう。火災保険に加入していたとしても、契約している保険に水害の補償がなければ保険金は支払われません。

また、水害というと河川の氾濫というイメージが強いですが、「内水氾濫」のケースも想定しておかなければなりません。内水氾濫とは、下水道や排水路が大量の水をさばききれずに、雨水が道路などに溢れ出すことをいいます。

近年、局地的に大雨が降るゲリラ豪雨が頻発していることによって、内水氾濫による浸水被害が多発しています。内水氾濫の場合は、自宅が河川から離れていても発生するため油断は禁物です。

「100年に一度」といわれる災害が毎年のように起こり、過去に自然災害がなかった地域でさえ、将来も安全かどうか分からない時代になりました。

全国各地で発生する自然災害の被害額は年々増加しており、火災保険の重要性はますます高まってきています。こうした背景を踏まえて今後の火災保険料の値上げにもしっかりと備えておきましょう。

なお、実際の火災保険料は、保険会社や都道府県、建物の構造、築年数によって異なりますので、詳しい内容や満期前の切替については、どうぞお気軽にご相談下さい。



秋田県湯沢市
小安狭大墳湯（熱湯と蒸気が
激しく噴出）

【編集後記】

スポーツの話題二つ。

一つは8月29日に行われた水泳大会に競泳女子の池江選手が白血病を克服し1年7ヶ月振りに「涙」の復帰を果たした。今後の活躍を期待したい。

二つ目、大坂なおみ選手がテニスの四大大会の全米オープンで2年ぶり2度目の優勝を果たした。ミスでくじけそうになっても強い気持ちでこれを跳ね返しての見事な勝利である。大坂選手は差別によって亡くなった黒人のネーム入のマスクを着用し入場。話題となった。

二人共、強い心を持ち一回りもふた回りも成長し、大きくはばたいている姿がすがすがしい。